

2009年3月期 第1四半期決算 ネットコンファレンス  
質疑応答要旨

ERP 関連

Q . SAP・ORACLE・ProActive の売上高を教えてください。

A . 2007 年度

SAP 18 億円、ORACLE 3 億円、ProActive 10 億円（2008 年度集計ベース 11 億円）

2008 年度

SAP 19 億円、ORACLE 4 億円、ProActive 14 億円

Q . ProActive の損益について教えてください。

A . カスタマイズを含めた生産性の向上やライセンス販売における収益性の向上等により、  
売上粗利益率は 6～8%改善している。

Q . ProActive のマーケティングコストはいつまでかかるのか教えてください。

A . 今年度は営業面並びにモジュール群の更なる充実を考えているため、今年度下期にかけて  
販管費は予定通り使う。来年度以降、研究開発費その他の伸びは抑えられると考えて  
いる。

第1四半期業績について

Q . 受注残高が前年対比横這いの理由を教えてください。

A . 前年度は保振関連の大型案件があり、証券向けの受注残高が前年に比べ減少している。  
これを除けばさほど大きな要因はない。

第2四半期以降の動向について

Q . 第2四半期以降、増収と考えている分野を教えてください。

A . マーケット環境の不透明感はあるものの、保険業界向けは新規案件も増え、また某保険  
システム子会社との協業案件もあり、増加している。  
また、流通業向け・製造業向けも新規案件が増えており、第2四半期以降期待できる。

Q . 第1四半期はプラットフォームソリューションが増加している様だが、第2四半期以降  
のプラットフォームソリューションの伸びを教えてください。

A . プラットフォームソリューションは第1四半期に大型案件があり、売上高には貢献して  
いるものの、利益率は高くないため、利益面での大きなインパクトはない。下期以降は、  
経済環境の動向次第では不透明感はあるが、当大型案件を除いたベースで、当初想定ど  
おり通期で 30 億円前後の増収を考えている。

Q . 第 2 四半期以降のリスク要因を教えてください。

A . 製造・銀行・証券業界の一部企業から、IT 投資の絞込みや値下げ要求があり、これらは下期以降に影響が出てくる可能性があると考えている。

Q . 第 2 四半期以降の販管費のイメージを教えてください。

A . 上期における対前年度比 4 億円の増加予想に対して、第 1 四半期は 5 月にエンプレックス株を完全子会社化したため、当初予定より上ぶれ、3.8 億円の増加となった。それ以外の点については各事業戦略に基づく販管費増として従来から予想している数字であり、予想している数字の範囲内である。

以 上